



報道関係各位

2013年11月22日
ゾエティス・ジャパン株式会社

ゾエティス社 2013年第3四半期業績の報告

■この資料について

この資料は米国ゾエティス社が2013年11月5日（米国現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に供するものです。正式言語は英語であり、その内容及び解釈については英語が優先します。

尚、詳細な記述は下記サイトから原文をご参照ください。

<http://news.zoetis.com/press-release/investors/zoetis-reports-third-quarter-2013-results>

<報道関係の皆さまからのお問い合わせ先>

ゾエティス・ジャパン株式会社 野川真義

TEL : 03-5309-7258/ FAX : 03-5309-9914

E-mail : motoyoshi.nogawa@zoetis.com

報道問い合わせ先：
Bill Price
1-973-443-2742 (o)
william.price@zoetis.com

投資家対応：
Dina Fede
1-973-443-2929 (o)

Elinore White
1-973-443-2835 (o)
elinore.y.white@zoetis.com

John O'Connor
1-973-822-7088 (o)

ゾエティス社 2013 年第 3 四半期業績の報告

- ・ 2013 年第 3 四半期の売上高は、前年同期比 8%増の 11 億ドルであった。
- ・ 2013 年第 3 四半期の報告ベース純利益は、前年同期比 19%減の 1 億 3,100 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 0.26 ドルであった。
- ・ 2013 年第 3 四半期の調整後純利益は 1 億 7,200 万ドル、調整・希薄化後 1 株当たり利益¹は 0.34 ドルであり、前年同期比でそれぞれ 12%増と 10%増となった。
- ・ 2013 年通年の調整・希薄化後 1 株当たり利益¹ガイダンスを 1.38~1.42 ドルの範囲に縮小する。

2013 年 11 月 5 日、ニュージャージー州フローハムパーク発 - ゾエティス社 (NYSE : ZTS) は本日、2013 年第 3 四半期決算を発表した。当社の発表によれば、第 3 四半期決算の売上高は前年同期比 8%増の 11 億ドルであった。売上高には為替によるマイナスの影響が 1%あり、実質ベース²では 9%増となった。

2013 年第 3 四半期の純利益は、前年同期比 19%減の 1 億 3,100 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 0.26 ドルであった。2013 年第 3 四半期の調整後純利益¹は 1 億 7,200 万ドル、調整・希薄化後 1 株当たり利益は 0.34 ドルであり、前年同期比でそれぞれ 12%増と 10%増となった。2013 年第 3 四半期の調整後純利益¹は、パーチェス法による会計処理調整、買収関連費用および一部の重要項目による正味の影響 4,100 万ドル (希薄化後 1 株当たり 0.08 ドル) を除外している。

経営陣からのコメント

「今回、当社の事業初年度第 3 四半期の決算発表を受けて、顧客に対して貢献し、財務実績を達成し、将来に向けた確固たる基盤を築くことができたことを喜ばしく思います」とゾエティス社最高経営責任者ホアン・ラモン・アレクスは語った。「当社は引き続き、成功に不可欠な営業実績、革新的な研究開発、信頼性の高いサプライチェーンを基盤とするとともに、新会社の設立に伴うあらゆる課題に対処していきます。」

「今四半期も、やはり当社の多様な製品ポートフォリオが主な要因となり、全ての営業地域で売上高増を達成することができました。また当社の事業範囲・規模の恩恵を受けて、調整後利益の伸びが売上高の伸びを上回りました」とアレクスは語った。「当社の最大の市場で

ある米国では、大幅な成長がみられました。これはコンパニオンアニマル向け製品と畜産向け製品双方の好調な売上高を反映しています。また米国の畜産向け製品の成長には、前年同期に発生した干魃による影響が予想通り反映されています。また他の全ての地域でも、バランスの取れた業績を達成しました。これは新製品が引き続き市場に受け入れられたこと、新興国市場における成長、中核となる製品ラインの堅調な業績が基盤となっています。」

「今年の最初の9ヶ月間は、当社は独自のインフラの整備の完了、ならびに通年の財務目標の達成に向けて大幅な進展を遂げました」とゾエティス社上級副社長兼最高財務責任者リック・パソフは語った。「当社では年初来の財務実績を踏まえ、当社の2013年財務ガイダンスにおける各項目の予想範囲を絞り込みました。」

四半期ハイライト

ゾエティス社は、その事業を米国 (U.S.)、欧州/アフリカ/中東 (EuAfME)、カナダ/ラテンアメリカ (CLAR) およびアジア/太平洋 (APAC) の4地域の事業区分に分割して組織し、運営している。当社は上記の各地域において、地域動向と顧客のニーズに合わせて、畜産・コンパニオンアニマル向けの多様な製品ポートフォリオを提供している。

2013年第3四半期の業績

・米国の売上高は、前年同期比10%増の4億9,500万ドルであった。畜産向け製品の売上高が11%増加した要因として、畜牛、家禽、畜豚があげられる。畜牛向け製品の売上高の伸びは、干ばつによる影響が最も顕著であった前年同期の低迷によって押し上げられた。同様に家禽向け製品と畜豚向け製品の売上高の増加の主因としては、薬用飼料添加物、ならびに新製品が引き続き顧客に受け入れられたことがあげられる。コンパニオンアニマル向け製品の売上高は10%増加し、当社の主な製品全体で業績が好調となったことを示している。

・欧州/アフリカ/中東の売上高は、実質ベースで同9%増の2億7,000万ドルであった。畜産向け製品の売上高は、実質ベースで7%増であった。この売上高の増加は、多くの新興国市場における畜牛向け製品売上高の増加を反映したものである。一方、西ヨーロッパの畜牛向け製品の売上高は引き続き減少し、この売上高の伸びを一部相殺した。畜豚向け製品の売上高は、新型ワクチンが引き続き多くの市場で顧客に受け入れられたことによる恩恵を受けた。コンパニオンアニマル向け製品の売上高は実質ベースで15%増となり、当四半期も第三者製造契約に関連する売上高の伸びによる恩恵を受けた。当該売上を除くコンパニオンアニマル向け製品の売上高は、抗感染症薬および寄生虫駆除剤の売上高が要因となり、実質ベースで5%増であった。

・カナダ/ラテンアメリカの売上高は、実質ベースで同9%増の1億7,100万ドルであった。畜産向け製品の売上高は、ブラジルを中心とする家禽向け製品が要因となり、実質ベースで6%増となった。また畜産向け製品も、ベネズエラ、メキシコおよびカナダの伸びを受けて増加した。コンパニオンアニマル向け製品の売上高は、2013年後半にカナダで寄生虫駆除剤

の使用時期に突入したこと、ならびにブラジルにおける需要増を主因として、実質ベースで19%増となった。

・アジア/太平洋の売上高は、実質ベースで同7%増の1億6,700万ドルであった。畜産向け製品の売上高は、畜豚向け新製品の発売が牽引役となり、実質ベースで8%増となった。家禽向け製品売上高の増加は、新興国市場向けの売上高、ならびにインドにおけるライセンス登録問題の解決による恩恵を受けた。畜産向け製品の売上高は、ニュージーランドの好調な業績を要因として増加したが、オーストラリアの干ばつによるマイナスの影響により一部相殺された。コンパニオンアニマル向け製品の売上高は、台湾や日本などの先進国市場や、中国などの新興国市場における売上高の増加を基盤として、実質ベースで3%増となった。

ゾエティス社は、ブランドライフサイクルマネジメント、強力な顧客との関係、ならびに新たな市場と技術を活用して引き続き需要を喚起し、多様な製品ポートフォリオを強化している。当社はその製品ポートフォリオを利用し、既存の製品ラインの効能の改良、製品供給先の拡充、各畜種における製品適応症の拡大、新たな販売地域における承認の取得に重点的に取り組んでいる。最近のハイライトの一部を紹介する。

- 規制上の承認 - 米国では、乳牛の定期人工授精用LUTALYSE[®]と合わせ、FACTREL[®]（ゴナドレリン注射液）の承認を取得した。上記の使用法に関して米国で承認を取得した製品は2種類のみであり、本製品はその1つとなる。FACTREL[®]の承認により、生産業者はFDA規制に準拠する方法を用いて、飼養する家畜の繁殖成績を改善することが可能になる。また畜牛・畜豚用抗生物質EXCENEL[®] RTU EZ（セフチオフル塩酸塩）について、米国での使用に関する承認を取得した。今回の再処方により、製品の使用が容易になる。
- ポートフォリオ市販地域の拡大 - 前四半期に発表した承認に基づき、ニュージーランドと米国に続いて欧州委員会でもAPOQUEL[®]（オクラシチニブ錠剤）が承認された。これらの市場では、月齢12ヵ月以上の犬のアレルギー性皮膚炎に伴う掻痒の抑制、ならびにアトピー性皮膚炎の抑制用として本製品を承認している。また畜牛用BOVI-SHIELD GOLD ONE SHOT[™]が、米国に続いてカナダで承認を取得した。これらの市場では、ある種のウシ呼吸器系疾患の予防用として本ワクチンを承認している。
- ベータ作用薬への事業拡大 - またゾエティス社は、ラクトパミンのジェネリック製品2種類について、米国での承認を取得した。本製品は、当社の強力な畜豚・畜牛向け製品ポートフォリオに加わることになる。ラクトパミンは、脂質の少ない高品質の赤身の肉の生産に向けた食物エネルギー管理に有効な畜牛・畜豚用の飼料添加物であり、医薬品のベータ作用薬に分類される。米国で承認を取得したのは、畜豚用ENGAIN[™]（ラクトパミン塩酸塩）と畜牛用ACTOGAIN[™]（ラクトパミン塩酸塩）である。ゾエティス社では、ENGAIN[™]を2014年第1四半期に、ACTOGAIN[™]を2014年後半に発売する予定である。

財務見直しおよびコメント

ゾエティス社の 2013 年通年の見直しには、ポートフォリオの多様性と事業モデルの堅牢さに対する当社の自信と、今年のアニマルヘルス向け製品の市況の変化に関する当社の見解が反映されている。

ゾエティス社は、年初来の財務実績を踏まえ、当社の 2013 年財務見通しの範囲を絞り込んだ。現時点で当社は、当年度の為替の影響に関する現時点での見解を反映し、売上高が 44 億 7,500 万～45 億 2,500 万ドルに達すると予想している。また当社は、通年の希薄化後 1 株当たり利益が、報告ベースで 0.98～1.02 ドルに達すると予想している。この見直しには、主に独立上場化に関連する 2 億 2,000 万～2 億 4,000 万ドルの臨時費用の影響が含まれている。通年の（パーチェス法による会計処理調整、買収関連費用、ならびに独立上場化に関連するコストなどの一部の重要項目を除く）調整・希薄化後 1 株当たり利益¹は、1.38～1.42 ドルの範囲と予想している。税率や支出などその他の項目に関する追加見直しについては、財務諸表に記載するとともに、当社の電話会議において論ずる。

ウェブキャスト&電話会議の詳細

ゾエティス社は、本日午前 8 時 30 分（東部標準時間）にウェブキャスト/電話会議を開催する。本会議では、当社幹部が第 3 四半期決算を報告し、2013 年財務見直しについて議論し、財務アナリストからの質問に回答する。投資家と一般の方々は、当社ホームページ <http://www.zoetis.com/events-and-presentation> からライブウェブキャストにアクセスすることができる。ウェブキャストについてはアーカイブに保存し、2013 年 11 月 5 日から再生による閲覧を可能にする。

ゾエティス社について

ゾエティス社は、顧客とそのビジネスのサポートに尽力している大手アニマルヘルス企業である。ゾエティス社は、ファイザー社のアニマルヘルス部門として 60 年以上に及ぶ歴史を有しており、家畜とコンパニオンアニマルの双方に重点を置き、動物用ワクチン/医薬品の発見、開発、製造、販売事業を行っている。2012 年の年間売上高は 43 億ドルであった。2013 年初頭の時点では全世界で約 9,300 人の職員が勤務しており、11 カ国 29 個所の製造施設を含め、約 70 カ国で事業を展開している。当社の製品は、120 カ国で獣医師、畜産業者および家畜やコンパニオンアニマルを育て、飼っている人々に貢献している。当社の詳細については、www.zoetis.comを参照されたい。

¹ 調整後純利益および調整・希薄化後 1 株当たり利益（非GAAPベースの財務指標）とは、ゾエティス社に帰属する報告ベースの純利益および希薄化後 1 株当たり利益（パーチェス法による会計処理調整、買収関連費用および一部の重要項目を除く）を指す。

² 実質ベースの売上高の伸びとは、為替の影響を除く売上高成長率を指す。

情報開示に関する注意事項

将来の見通しに関する記述：本プレスリリースには、事業計画もしくは見通し、将来の事業もしくは財務上の業績、およびその他の将来の事象に関する現時点のゾエティス社の見解を反映した将来の見通しに関する記述が含まれている。かかる記述は、将来の業績を保証するものではない。将来の見通しに関する記述は、リスクおよび不透明性による影響を受ける。かかる一ないし複数のリスクもしくは不透明性が現実のものとなった場合、または経営陣による基本的な前提条件が誤りであることが判明した場合、実際の業績が将来の見通しに関する記述に記載された内容とは大きく異なるものとなりうる。将来の見通しに関する記述は、あくまで本文書の作成時点における記述である。ゾエティス社は、新たな情報、将来の事象もしくはその他のいずれかの結果によるかを問わず、将来の見通しに関する記述を更新もしくは改定する義務を明示的に放棄する。リスク、不透明性およびその他の事項に関する詳細なリストおよび説明については、四半期報告書（書式10-Q）および最新報告書（書式8-K）のセクション「Forward-Looking Information and Factors That May Affect Future Results（将来の業績に影響を与える将来の見通しに関する情報および要因）」およびセクション「Item 1A. Risk Factors（第1A項：リスク要因）」を含め、2012年12月31日までの会計年度に関する当社の年次報告書（書式10-K）を参照されたい。上記の報告書類およびその後の報告書類については、ウェブサイトwww.sec.gov、www.zoetis.comからオンラインで入手するか、またはゾエティス社に申請して入手することができる。

非GAAPベースの財務指標の使用：当社は、当社の業績および動向の評価および分析を行い、財務上および事業上の判断を下すため、調整後純利益および調整・希薄化後1株当たり利益などの非GAAPベースの財務指標を使用している。当社は、これらの非GAAPベースの財務指標について、当社の業績に関する透明性を高めるものであり、したがって投資家にとっても有益であると考えている。本プレスリリースに記載する非GAAPベースの財務指標は、GAAP基準で義務づけられる指標（純利益、営業利益、および1株当たり利益などに代わるものとみなしてはならず、また流動性の指標とみなしてはならない。これらの非GAAPベースの財務指標は、他社が提示する非GAAPベースの財務情報と同等のものではないと考えられる。非GAAPベースの財務指標およびGAAPベースの財務指標の調整については、本プレスリリースに添付の表に記載し、当社ウェブサイトwww.zoetis.comに掲載する。

インターネットへの情報の掲載：当社は、投資家にとって重要となりうる情報を、当社ウェブサイトwww.zoetis.comの「Investors（投資家）」セクション、Facebookの当社ページ <https://www.facebook.com/Zoetis>およびTwitterアカウント@zoetisに定期的に掲載している。当社では、投資家および潜在的投資家に対し、当社に関する重要な情報について当社ウェブサイトを通じて定期的に参照し、FacebookやTwitterで当社をフォローすることを推奨する。